



うさぎだより

中野区議会議員●無所属

佐藤ひろこ

[事務所] 〒164-0001 中野区中野1-33-9 TEL/FAX.3368-9107 [区議会] 〒164-0001 中野区中野4-8-1 無所属控室 TEL.3228-8874
http://homepage2.nifty.com/usagidayori/ mail:usagidayori@hotmail.com 編集・発行:住民自治をすすめる政策研究会

10万人失業は災害 生活再建の支援を



厳しい経済情勢で仕事を失う人が増えています。この数年お正月に、都内の公園でボランティアアグループが行っている炊き出しのお手伝いを少ししています。今年は大勢の炊き出しの列に、今までと違い若い女性や男性の姿もあり、仕事を切られた人達が大変多い深刻な状況を感じました。足を引きずった高齢の方々の姿もありました。10万人以上の失業者や貧困層を生み出してしまっている状況は、政治災害とも言えます。

朝日新聞に大きく写真入りで紹介されましたが、阪神・淡路大震災から14年目の1月17日、「あれから14年―人間の国へ」という集会を開きました。大震災は何十万人もの人々をホームレスにしました。大震災後、小田実さんたちと共に「市民議員立法運動」で「被災者生活再建支援法」を成立させましたが、解雇で仕事や住まいを失った人達の生活再建の厳しさは、災害で家や仕事を失った人達と同じ構図です。一人一人の生活の立て直しをまず支援することが、地域全体の再生につながると思います。

問題は山積しています。本年もよろしくお願いいたします。

中野区の 緊急経済・雇用対策

1月23日の臨時議会で、第2弾の緊急経済・雇用対策補正予算を可決。

中小企業へ2年間無利子の緊急融資額の上限を5百万円から2千万円に拡大。公園の園内灯の省エネ化など公共事業の前倒しや、介護資格受講費用を一人当たり10万円助成

し、介護事業者の人材養成支援をする等、雇用拡大を図る。来年度予算の対策と合わせ、約234億円の経済効果

第4回定例会 一般質問

安心して出産できる環境を

佐藤 脳内出血の疑いがある妊婦が、総合周産期母子医療センターの都立墨東病院など8医療機関に受け入れを断られた末、死亡した。緊急対応が

できず、周産期医療体制が深刻な状況。各地で産科の閉鎖が相次いでいるが、出産できる医療機関は、中野区では充足されているのか。緊急時の受け入れはだいじょうぶか。



転換する中野区政 ―子育てから介護まで―

お話 田中大輔区長
4月19日(日)午後2時~4時
男女共同参画センター研修室

主催 住民自治をすすめる会

佐藤 私は、2人目の子どもを助産院で産んだ。助産師さんはお産の知識が豊富で、心の不安や母乳育児など気軽に相談ができる。身近な地域でお産や育児の相談ができる助産師をもっと活用すべきだ。

区長 助産師には、母親学級、新生児訪問等の業務をお願いしている。今後とも地域子ども支援センター事業などを通じて活用を図っていく。

療圏で、地域周産期母子医療センターが3病院あり、産科医師数も都平均を上回っている。通常はお産の受け入れ先に困る状況にはない。しかし、緊急の場合などに、受け入れ病院を探すのは困難な場合があり、医師不足は都内共通の課題。区長会で厚生労働省に、周産期医療体制の充実について緊急要望をした。(区議会でも国と都に意見書を提出)

アートによる まちづくりを

「アート」は、ITデザインなど新しい表現形態も含んだ広く文化芸術領域が含まれた言葉。まちの活性化に果たす役割は大きく、「アート」を通して人と人がつながり、「コミュニティ」の発展にも寄与することができる。

佐藤 区民の知恵を生かして、中野らしい「アート」によるまちづくりプロジェクトを始めてはどうか。

区長 文化・アートはまちに新しい魅力やにぎわいを創出する核として位置付けている。中野区イメージアップ戦略とし

障がい者アート…

奈良県にある「たんぼの家アートセンターHANA」を見学。障がい者の通所施設とは思えない、地域に開かれたすてきなアトリエだ。機械工房や陶芸工房、別棟にはグループホームもある。個性豊かなアーティストから生み出された絵がTシャツや食器などのデザインとして商品化され、東京のおしゃれなショップでも販売されている。

障がい者アートは、まちに経済的・社会的効果を生み出す。「エイブルアートカンパニー」は、障がいを持つ人のアートを社会に発信し、商品化やデザインとして使える仕組みをつくるために、



三つのNPOが共同で設立した組織。その事務局を担っている「エイブル・アート・ジャパン」は、東中野にあり、障がい者アートを中心にさまざまな企画のコーディネートを展開している。その「アトリエポレ」には、都内から障がいを持つ人達が絵を描きに來ている。江古田の東京コロニーの「アートピリテイ」は、障がい者アート専門の芸術ライブラリ。中野5丁目にある愛成学園で、障がい者アートの展覧会「pangaea展」が行われた。中野区に三カ所の障がい者アートの拠点がある。

て取り組みたい。
佐藤 コミュニティ・アートセンターが、桃丘小跡に計画されているが、用途地域上の難しい問題があるようだが、どうなるのか。

区長 桃丘小跡地のコミュニティ・アートセンター設置には、土地利用上、一定の変更が必要。中野駅周辺まちづくりの中で、ふさわしい場の確保に向けて、検討していきたい。

佐藤 日本で代表的な障がい者アートの発信拠点が中野区にある。障がい者アートと産業界振興とのコラボレーションを検討してみてもどうか。

区長 障がいのある方の中には、アートの領域で秀でていられる方がいる。そうした方々が

作品を通して経済的にも社会的にも自立していくことは大切なこと。発信できる仕掛けづくりを検討したい。

佐藤 NPO法人ZEROKITZが元東中野保育園を利用して、「100日キッズアートハウス」事業を行った。

期間中さまざまな団体が子どもとアートにかかわる活動を展開し、千人以上の親子が利用し、団体同士の連携も生まれた。区はこの取り組みをどう評価し、どのように生かしたいと考えるのか。

区長 この事業は、創作活動を通じて、世代を超えた交流の機会を提供し、子育て支援を行うという企画。区としても世代間交流などの可能性を



100日キッズアートハウス

検証するため、共同事業と位置付けて実施した。さまざまなイベントの展開で多くの子どもたちが集い、目的を達成したものと評価している。その成果については、さまざまに展開される子育て支援の事業に生かしたい。

厚生委員会から

▼「障害者自立支援法の見直しに関する意見書」を区議会から国へ提出

▼民間児童クラブ運営事業者の変更

民設民営の学童クラブを、中野区にはじめて開設した(株)プロケアが、事業からの撤退を申し入れ。急ぎよ、4月から他の事業者へ引き継ぐ。今後、安定した運営ができるよう、補助金額を増やす予定。

▼新型自立支援センター「仮称」中野寮「検討委員会報告」各区が交代で、ホームレス

自立支援のための寮を5年間の期限で設置することになっている。2011年度からは中野区が設置する番になる。

定員70人の緊急一時保護や就労支援の施設が予定されている。住民理解が必要なことから、区民参加の検討委員会を、

人権教育や啓発活動、施設のあり方などに関する報告がまとめられた。4月から区が用地選定に入る予定。

▼ペット等飼養に関する条例制定に向けた考え方について

内容にいろいろ問題があり、質問が集中。再検討することになった。

内容にいろいろ問題があり、質問が集中。再検討することになった。

シテイテレビ中野の 行き過ぎた 営業活動について

佐藤 私の住んでいる中野一丁目町会で地上デジタル放送についての勉強会が行われた折、シテイテレビ中野の営業の仕方に対する苦情がたくさん出された。「屋内配線の工事を無料にするからと、多チャンネルは見えないのに、多

チャンネルコースへ加入させられた」「加入しないとテレビが見られなくなると言われて契約した」「アパートの入居戸数と関係なく受信料を徴収するのはおかしい」など。

基本料金525円の算定根拠の質問に、シテイテレビ側は「金額は区議会が条例で決めた」と、金額を決めた条例はないのに、間違った説明もした。区はシテイテレビ中野にどう指導しているのか。

来年度予算案から

入浴が困難な高齢者に 高齢者会館での 入浴事業は続けられる

1年前「高齢者会館等の入浴事業の廃止」が提案された時、「全て廃止は困る」と厳しく質問。必要な人に対して何らかの方法でお風呂を利用してきるようにすべきだと主張してきた。そして入浴事業は継続されてきた。

厚生委員会に入浴事業の継続を求める陳情も出された。1年かけて検討の末、入浴機会の確保が困難な高齢者を対象に、利用者負担が少しあるが、今まで利用していた高齢者会館等で、入浴事業が続け

られることになった。

旧東中野保育園跡に 認可保育園の分園開設

0〜2歳30人定員で保育園を7月再び開設予定。昨年3月に東中野保育園は廃止されたばかり。その跡に認証保育園を誘致する計画だった。しかし、昨年9月に駅前にはハッピーマイル認証保育園が開園し、計画は棚上げに。

ところが、その認証保育園が経営難で突然2ヶ月で閉園。そこで再び、保育園跡に認可保育園を開設することになった。区の見通しが甘かったか？

区長 誤解の生じないように、気をつけた対応をするよう要請をしている。苦情がなくなりにしていきたい。

佐藤 地上デジタル放送が始まると、自分でアンテナを立てればテレビが受信できる。シテイテレビの電波障害対策の役割が変わるのではないのか。

区長 電波障害対策制度は、デジタル化された後は基本的には使命を終えることとなる。

建物解体時の 建材アスベストに 注意！



近所のアパートの解体工事直前、アスベスト含有建材が使われていることが、近隣住民の聞き取りでわかった。所有会社や解体業者と近隣住民との話し合いで、区の立会いの下、アスベストの処理をきちんとやってもらったことになった。

アスベストは、石綿と呼ばれる肉眼で確認できない細かい鉱物繊維で、肺などに入ると、何十年後に悪性中皮腫等で死に至ることもある。国においても規制が強化され、04年からアスベ

る。地域情報化の有力なメディアとして今後展開していくことになる。

佐藤 地上デジタル放送について、情報が混乱している。区報や説明会などで正しい情報を区民に伝えてはどうか。

区長 総務省もテレビ受信者支援センターを設置して、説明会や戸別訪問等を行う。連携、協力して地上波テレビのデジタル化への移行対応を進めていきたい。

ト含有の成形板の製造は禁止された。特に危険な吹きつけアスベストについては除去工事がされている。区でも学校や保育園などのアスベストの除去工事を行ってきている。

吹きつけアスベストは解体・改築時届出が義務付けられているが、建材アスベストについては義務付けされていない。しかし、割ればアスベスト飛散の恐れがあり、飛散を防止する対策が必要だ。

建物の解体・改築時に注意を。不安な時には、区の環境公害担当に相談を。
電話 3228-5524

ホームレス支援策

生活が厳しい人に寄り添うことで、社会の問題が見えてくる。現場に足を運びながら、路上生活者の自立支援策を提案してきた。

区は2年前から、路上生活者に、臨時の仕事と3千円の家賃でアパート入居を支援する期間2年の地域生活移行支援事業に取り組み、53人が路上から脱出できた。巡回相談事業も行われている。しかし、継続できる仕事の確保や、心の病等、問題の解決は大変だ。

佐藤ひろこの収支報告

2008年11月～2009年1月

	11月	12月	期末手当	1月
収入	647,000	647,000	1,547,947	647,000
支出	42,000	12,000		18,000
税	81,160	△81,067	257,745	81,160
年金・保険	177,210	177,210	116,025	177,210
活動費	46,699	93,911	542,200	157,192
積み立て	42,000	12,000		18,000
残	¥341,931	¥456,946	¥631,977	¥231,438

*議会に出席すると1日につき3,000円の費用弁償がつく。なくすべきだ。区への返金は法的にできないので、積み立て、区外の団体に寄付をしている。今回は、災害被災障がい者を支援する「ゆめ・風基金」、記録映画「祝の島」製作協力金などに寄付。

佐藤ひろこの活動日誌から

- 11月
- 2 東部運動会
- 3 軽可搬ポンプ操法大会
- 4 コミュニティ政策研究会
- 6 虹と緑関東ブロック
- 7 町会連合会との懇談会
- 8 アトリエ・ポレポレ見学
- 11 京都市障害保健福祉課・難病ALSの方の家を訪問
- 12 奈良県にある「たんぼほの家」アートセンター
- 13 薬物乱用防止中野区民大会
- 14 厚生委員会／りつりつ生存学研究会
- 15 共働学舎収穫祭／高根町会ふれあい懇親会
- 介護従事者への医療的ケアの研修会
- 17 中野が動くまちづくりフォーラム
- 中野1丁目町会主催 地上デジタル放送対応など説明会
- 20 議会運営委員会
- 24 障害者防災委員会主催 避難誘導シミュレーション
- 住民自治をすすめる会 議会報告
- 27・28 本会議
- 12月
- 1 本会議 佐藤ひろこ質問
- 3~5 厚生委員会
- 6 ベビーサロン中野運動会
- 6・7 21世紀社会デザイン研究学会で発表
- 8 防災まちづくり特別委員会
- 9 タッチの会
- 10 本会議
- 13 障害者政策研究全国集会
- 14 中野区聴覚障害者合同記念パーティー
- 15 アスベスト建材除去工事について話し合い
- 中野コミュニティとアート研究会
- 16 陽だまりの丘保育園見学
- 三宅島噴火被災者のお話を聞く
- 上鷲宮地域での区政懇談会
- 17 障害者防災委員会
- 20 中野駅前トーク・NPO法人ねこの手忘年会
- 21 ミュージカル「中野プロンディーズ」鑑賞
- 22 ももぞのデイクラブ
- 23 障害者防災委員会主催 防災交流会
- 26 区民の会主催 お茶の会
- 1月
- 3 南池袋公園で炊き出しをお手伝い
- 4 中野駅前トーク・住民自治をすすめる会新年会
- 5 中野区新年賀詞交歓会
- 6 東京朝鮮中・高級学校民族管弦楽部発表会
- 8 東京韓国学校訪問・中野1丁目町会新年賀詞交歓
- 9 りつりつ生存学研究会
- 11 オレンジミントもぐもぐの会
- 12 成人のつどい
- 14 中野区消費者団体連絡会等主催新年交流会
- 16 予算内示・中野区職員労働組合旗開き
- 17 大震災に備えるフォーラム in 中野
- 阪神淡路大震災から14年1.17「人間の国へ」集会
- 19 立命館大学院「障害者の生活・教育支援」研究会
- 20 中野区町会連合会新年のつどい
- 21 厚生委員会
- 23 臨時区議会・中野福祉団体連合会新年懇親会
- コミュニティ政策研究会
- 24・25 障害者の政治参加をすすめるネットワーク in 小倉
- 27 北九州市「いのちをつなぐネットワーク事業」
- 「子育てふれあい交流プラザ」等視察
- 28 福岡市自転車駐輪対策・障害者雇用をすすめる
- リフォーム三光サービス視察
- 29 復活予算・補正予算内示
- 30 野村生涯教育センター新年の集い／デートDV講演会

数日徹夜状態で、パワーポイントを準備して、医療的ケ



12月7日

21世紀社会デザイン学会
で発表

<http://homepage2.nifty.com/usagidayori/>

ホームページの日記から

1月28日

福岡市で見つけた
「何これ？」

北九州市の「いのちをつなぐネットワーク事業」などを視察。翌日、福岡市の障がい者雇用を進めるリフォーム会社「三光」へ行く途中、天神の

アに関するコミュニティ政策について学会発表。不十分な部分を、プレゼンテーション力でカバーしたかな！。午後からは、「女性が政治を変えるとき」の司会と、緊張の一日だった。

2月1日

餅つきと食育フェスタ



交差点付近で見つけた、めずらしい「盲導犬専用トイレ」。募金で作られたらしい。

午後、中野駅北口広場で、区が初めて行った「食育・健康づくりフェスタ」に行く。真冬なのにたくさんブースで、予想外ににぎわっていた。中野工業高校が、長野県産のりん

さくら館の餅つき大会で朝からお手伝い。

傍聴してね！

◆ 次の議会は予算審議 ◆
2月21日(火)～3月23日(月)



ごから作っている「りんごジュース」一本70円を買う。

ノルジャ!

韓国・朝鮮の音楽

4月4日(土)午後2時半～4時
なかのZERO視聴覚ホール
チケット1000円
(小・中・高校生500円)
事前申込です。佐藤まで
主催 タッチの会

地域におけるセーフティネットが重要になってきています。昨年から、立命館大学院博士課程で学びながら、立命館大学院の院生達とコミュニティ政策研究会を立ち上げ、地域政策に貢献できるような磨きをかけているところです。現場を歩き、人と政策をしっかりとつないでいきます。